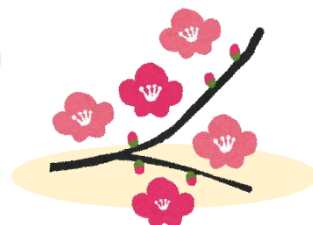


播磨まちかどニュース

With いなみ野学園

瓦版



兵庫県いなみ野学園では、大学院生などの受講生が自主制作として、地元ケーブルテレビ局「BAN-BANテレビ」と協働し、テレビ番組「播磨まちかどニュース With いなみ野学園」を制作しています。学園内外の魅力的な活動を映像で紹介する15分の番組です。瓦版では、これまでの配信動画の内容を紹介しています。

★★最新の配信動画★★

現在、いなみ野学園ホームページに掲載している動画をご紹介します。

播磨まちかどニュース with いなみ野学園 90

◆配信日：令和7年1月1日◆

いなみ野学園短期集中講座

～ニュースで探る未来の自然科学と数学脳活講座～



「いなみ野学園短期集中講座」での菅生安展（すがせ・やすひろ）先生の4回シリーズの様子をお伝えします。

菅生先生は、以前、学園では副学園長を務められ、今は兵庫大学エクステンション・カレッジで講師をされています。今回の講座は、「宇宙と数学の関わり」が第1回目のテーマで、2回目は「エネルギーの未来と数学」、3回目「環境変化と私たちの未来」、4回目「デジタル時代の知的な生活・量子コンピューターの世界」と続きます。

1回目、令和6年11月28日（木）午後3時から、いなみ野学園地活第3教室で開催されました。聴講のみなさんは、こうしたテーマに関心のある方たちなのでしょう、みなさん真剣に聴いておられました。

最初の講座が始まりました。まずご自身の

自己紹介から始められ、次いで「なぜ？ どうして？」というテーマを話され、最後に「では調べてみよう」と参加を促してこられたそうです。

今回の講座も、大きくは3部構成、1部は最新のニュースからの話題提供、2部は本題のテーマの説明を、3部では練習問題にチャレンジ。毎回、そういう流れで講義を進めていかれるそうです。

1部は「チャットGPT」。チャットの登場で生活が大きく変化してきていること。ソフトバンクの孫会長の話を交えながら、変化を解き明かしていきます。

ChatGPT登場による生活変化

講座資料から

元

・情報収集の効率化

複雑な質問に対しても、自然な言葉で情報を検索し、要約された回答を得られるようになりました。

・クリエイティブな作業の支援

文章作成、アイデア出し、翻訳など、様々なクリエイティブな作業において、ChatGPTが強力なツールとして活用されています。

・学習の効率化

ChatGPTは、学習の補助ツールとしても活用されており、質問に答えたり、説明したりすることで、学習を効率的に進めることができます。

・カスタマーサポートの自動化

多くの企業が、顧客からの問い合わせ対応にChatGPTのようなAIを活用し、より迅速かつ正確なサポートを提供できるようになりました。

「AGI（汎用人工知能）」つまり人間の知能と同じレベルが、「超知性」つまり人間の知能と知性の1万倍の能力を備えたものが開発

され登場する、それも10年以内にと。遙か先のことではなく10年以内にと言うのだから驚きですね。その進化はすさまじい限りです。

2部は「宇宙と数学の関わり」。アポロ計画での月面着陸から50年、再び月へ。どうい理由で「再び」がスタートしたのか、それは地球上にはない貴重な資源が月にはあるから。そのためにこそ各国が宇宙開発に関わろうとしているのだ」と。

「地球は丸いのはどうして?」「地球のサイズは?」「月までの距離は?」「太陽の大きさは?」こうした疑問を紀元前240年、エラトステネスが考えたそうです。では、私たちも考えましょう・・・と、「播但線を使って地球の大きさを図ろう」との問いが次です。

姫路と和田山は東経はほぼ同じ、その間の距離は65.7キロ。北緯90度は北極星を見た角度。緯度の差0.5135から割り出して、 $65.7 \div 0.5135 \times 360 = 46,058$ キロと出ること。「播但線を使って地球の大きさを図る」なんて驚きですね。「月の大きさも月食から割り出せる」、これもビックリです。

たくさんの方を聴いて学んで来て、最後は聴講生自身が頭を使って数学問題にチャレンジしてみましようと言う訳です。ルートやサイン・コサインなど、懐かしい呼び名を思い出しながら、結構ハードな課題への挑戦です。その後の3回も、このように3部構成で講座が進みました。「それぞれにどこかで自分の関心ごとがある」、ならば「聴いてみようか」となるように、そんな先生の配慮からです。



「未来の自然科学、数学」を解き明かし、興味関心のある方には、ワクワク感いっぱいの講座となったことでしょう。こうした学びはとても刺激的です

ね。いなみ野学園ではこうした講座を次々に開催しています。幾つになっても知的好奇心は持ちたいものですね。そして一緒に学びませんか。

(ナレーション：吉川千代子)

【別】播但線を使って地球の大きさを測るには?

【問題】
北極星の高度と同じ経度線上にある南北2点の距離から地球の大きさを求めよ
＜参考資料＞
播但線
姫路駅 北緯 34.827642
 東経 134.690849
和田山駅 北緯 35.341168
 東経 134.851847
姫路駅—和田山駅 距離 65.7km

北極星が真上に見える位置が北緯90度なので、ある場所で北極星を水平線から見上げたときの高さ(角度)は、その場所の緯度に等しくなります。このことを利用して、同じ経度線上にある南北2点の距離と緯度の差から、地球の大きさを求めてみます。

講座資料から

姫路駅	北緯 34.827642
	東経 134.690849
和田山駅	北緯 35.341168
	東経 134.851847
姫路駅—和田山駅	距離 65.7km(JRの営業距離)

解答
緯度の差 $35.341168 - 34.827642 = 0.513526$
計算式 $65.7\text{km} \div 0.513526 \times 360 = 46,058\text{km}$

実際の地球の大きさは 外周：赤道で約40,075 km、
極で約40,008 km です
直径：約12,700km

ここで約6,000kmの距離になりました
これは距離が65.7km(JRの営業距離)のためと
東経が少し異なるため
実際の南北直線距離より長くなっているからです

実際の南北直線距離は 57.11kmです
よって
計算式 $57.11\text{km} \div 0.513526 \times 360 = 40,036\text{km}$
となり 実際の大きさの近くになります

いなみ野学園 短期集中講座

**ニュースで探る
未来の自然科学と数学脳活**

受講者募集 4回講座
30名募集(先着順受付)
受講料 6,000円
会場 兵庫県いなみ野学園
(加古川市平岡町新在寮902-3)

11月28日開講
毎週木曜日
15:00-16:30
4回講座

最新の気になる
ニュースから学ぶ脳活

未来を見据えた自然科学と数学の知識も、最新のニュースを速く楽しく学ぶ講座です。日々のニュースには、科学と数学の原理が隠れており、それを理解することで脳を活性化することができます。この講座を通して、参加者は科学と数学の魅力をより深く理解し、未来の技術やトレンドについて、より的確な判断を得ることが出来ます。単独の自然科学や数学の知識は必要ありません。

【日程・内容】
・11/28(木)「宇宙と数学のかかわり」
・12/05(木)「エネルギーの未来と数学」
・12/12(木)「環境変化と私たちの未来」
・12/19(木)「デジタル時代の知的な生活」
[電子コンピュターの教育]

講師 菅生安規
兵庫大
エクステンション・カレッジ講師

◆兵庫県内に居住・在職のかたなら、どなたでも受講いただけます。◆

申し込み
お問い合わせ

(公社) 兵庫県生きがい創造協会 生涯学習部
電話 079-424-3300 FAX 079-424-3475
Email inamino@hyogo-kiigai.or.jp

令和7年 新春を迎えて 学園長 大学自治会長ごあいさつ

◆配信日：令和7年1月16日◆



令和7年巳年のスタートに当たって、いなみ野学園から新年のご挨拶をさせていただきます。

初めに、坂本哲也兵庫県生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長が新年の挨拶を申し上げます。



学園長は、今年の干支巳年の「巳」について、「巳は、生まれてくる、将来・未来があるなどの意味があり、また、蛇が脱皮する様から復活・再生の年であり、更にはお金が身に付く、実を結ぶ、力を蓄えていたものが芽を出す起点の年」と紹介されました。続いて、今年は大阪万博の年、「世界が抱える課題、つまり少子高齢化、環境、エネルギーを考えるイベントであり、その課題を最先端の技術と叡知を集めて解決していこうということ」であり、正に「再生、将来、誕生を象徴するイベント」であると強調されました。

そして、「ビジネスエリートが教養をキーワ

ードとするが、手っ取り早く身に付くものが果たして教養と言えるのか。そうではなく深く身に付く、心豊かにすることこそが教養ではないか」、いなみ野学園は「じっくりと考え、興味が湧き、面白いことが学べる、本来の教養が身に付くところ」、「さらに多くのみなさん方に来ていただきたい」と話されました。

それから、「伊能忠敬と葛飾北斎」の二人を例に、学びに年は関係ないと。伊能忠敬は当時の平均寿命40歳を過ぎ50歳から本格的に天文学を学び始め、全国の測量を開始したのが55歳になってから。「地球の大きさを知りたい」との夢を叶えるために勉強したとのこと。もう一人の葛飾北斎は88歳まで絵を描き続け、「70歳までの絵は取るに足りない、80歳から益々上達し、90歳で奥義を極める」と語ったそうです。これらからも、飽くなき好奇心を持つことが大切。学びに年は関係ない」と強調されました。



続いて、藤村清春大学自治会会長が、新年の挨拶を申し上げます。



「去年11月の「いなみ野祭」は5年ぶりオープン開催をして、2日間で5000人もの人たちにお越しいただきました。兵庫大学のブラスバンド演奏や踊っ子チームの踊りなど、地域貢献、3世代交流となり、大いに盛り上がるものとなりました。2月に次の学年にバトンタッチしますが、後輩たちも更に盛り上がるものにしていくでしょう。甲子園の1. 2倍もの広い敷地の環境の中、私たちは友と語り、交わり勉強し合う、そんな素晴らしいいなみ野学園でした。大学・大学院900名が集ういなみ野学園は、伝統を踏まえながらも改革・改善をしながら進んで行っています。」と話されました。

学園長と自治会長の挨拶を聞きながら、改めて、私自身も新しい年が始まったことに気

持ちの引き締まる思いがしました。

巳年の蛇は、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる象徴で、新しい挑戦や変化に、前向きな姿勢を示す年と言われます。その干支にあやかって、新たな挑戦をして行かねばと思います。どうぞ視聴者のみなさんも、「挑戦」「変化」に果敢にトライしていきましょう。



新しい年を迎え新たな希望を胸に、今年も力いっぱいがんばりましょう。そして、私たちの番組へのご支援も、どうぞよろしくお願いいたします。

私たち番組制作委員会も、去年以上に楽しい番組作りに取り組みなければと思っています。

(ナレーション：大前 小夜子)

【いなみ野学園 動画配信ホームページ】

https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/video/video_inamino_summary.html

《編集・発行》

いなみ野学園 ビデオ制作委員会 (いなみ野学園大学院講座・研究生) ☎079-424-3342



生涯学習に、仲間づくりに、緑豊かなキャンパスで充実したアクティブシニアライフを！

兵庫県いなみ野学園

令和7年度入学生募集中！ 受付期間：3月21日(金)まで

《大学講座(4年制)》

- ・園芸学科
- ・健康づくり学科
- ・文化学科
- ・陶芸学科

《大学院講座(2年制)》4コース

- ・歴史・文化
- ・環境・地域
- ・健康・福祉
- ・景観園芸

【お問合せ】 兵庫県いなみ野学園

電話079 - 424 - 3342

〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3

<https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/inamino/notice.html>

